

令和2年度在宅医療連携強化事業 在宅医療提供体制普及啓発事業

実施報告 4件

NO. 1	新型コロナウイルス感染症の感染・対策方法リーフレットの作成
実施者（団体名）	揖斐郡医師会
主な参加者	医師：野田宜輝、今村寧、横田修一、西脇健太郎
	看護師：唐田しのぶ、コーディネーター：小森美香
活動内容	<p>実施内容：</p> <p>ワーキンググループ会議を以下の通り開催した。</p> <p>第1回 令和2年9月9日（水）19：30～20：30 事業説明、スケジュールとリーフレット作成手順の打合せ、仕様、内容について検討した。その後、メンバー間で、メールにて掲載内容について協議を重ね、原稿案を作成した。</p> <p>第2回 令和2年12月15日（火）20：00～21：00 リーフレットの校正、配布先と印刷枚数の検討</p> <p>印刷完了 令和3年1月19日揖斐郡内の医療機関、高齢者サービス事業所、障害者施設等への配布を実施した。</p>
作成した啓発資材	・【新型コロナウイルス感染症の正しい感染予防及び対策方法 Q&A】 (2500部)

NO. 2	患者家族のための在宅看取りパンフレットと意志表明書の作成
実施者（団体名）	西岐阜医療の会
主な参加者	医師：葛西正好、森一真、伊在井みどり、
	看護師：柳澤美代子、細野美佳
活動内容	<p>実施内容：在宅療養患者の看取り期における患者の身体変化や、苦痛が増えた時の家族の対応について説明するためのパンフレットを作成した。看取りの流れについて予め家族が認識しておくことにより、家族の心労をやわらげ、また昨今問題となっている「在宅看取り患者であったのに救急要請をしてしまった」といった事案を減らす一助になると考える。</p> <p>また、終末期の医療に対する意思表明書を併せて作成した。全体オンラインミーティングを2回行い、個別の検討事項については電話、メールにて相談し、随時協議を行い完成した。</p>
作成した啓発資材	・在宅看取りパンフレット【やすらかな旅立ちのために】2000部 ・意思表明書【医療に対する希望（終末期になったとき）】2000部

NO. 3	在宅療養患者家族のための防災手帳の作成
実施者（団体名）	医療法人大垣在宅クリニック
主な参加者	医師：雪田洋介、沼口諭、高木達矢
	看護師：安田尚美、足立文、小寺満紀、富田友香、瀬川愛
活動内容	<p>実施内容：</p> <p>7月～10月頃の防災手帳を1か月間モニターし、使い勝手や意見を確認。訪問看護、居宅介護支援事業所へのアンケート調査を実施。防災マニュアルの有無や職員の意識、利用者費の指導の有無について確認した。</p> <p>令和2年8月31日（月）には防災に関する勉強会の実施。</p> <p>令和2年10月8日（木）zoom会議。防災手帳の内容について検討。</p> <p>令和2年10月30日（金）芭蕉ネット登録事業者へアンケート実施。</p> <p>12月頃、防災手帳の手引き：大垣市医師会の意見をふまえ補足文書の作成。</p> <p>12月上旬医療機器メーカー帝人へ連絡。院内で勉強会を実施。停電時における在宅酸素の対応方法について確認。DMAP「災害対応支援システム」や酸素ボンベの保管台数や安否確認方法について確認した。また、人口呼吸器取扱い業者の内部バッテリーの持続時間の確認を行った。1月大垣市の行政担当者との意見交換。電力会社へ連絡し、停電時に向けた取り組みと対応方法について確認。停電情報お知らせに関するツールや事前登録制度、定期的な訪問について情報収集した。</p>
作成した啓発資材	<ul style="list-style-type: none"> ・防災手帳 100部 ・防災手帳の手引き

NO. 4	在宅看取りと死後の手続についての市民啓発用パンフレットの作成
実施者（団体名）	各務原市ふるさと福祉村
主な参加者	医師：二宮保典、浅野昇悟、木田盛夫
	看護師：渡辺みどり 看護学部 教授： 後藤真澄
活動内容	<p>実施内容：検討会議はwebにて2回実施。内容を検討し、メールにて意見交換し原稿を作成した。</p> <p>検討事項：看取り期の患者、家族には、かかりつけ医や訪問看護師から、最期の身体的変化や精神状態を事前に説明し、最期を迎えるにあたっての心づもりをしていただけるよう声掛けをしながら支援する必要がある。また、患者が亡くなった後、かかりつけ医が、「死亡診断書」を渡すとき、死亡診断書を貰っても家族は、初めてのことでどうしたらよいか分からないと訴えることもある。「あとは葬儀社に聞いてください。」と終わらせるだけでなく何か目安になるものを作成しようという試みから、今回の企画に至った。パンフレットの内容は、福祉村に集う多職種（医師、役所の方、看護師、大学教授）のご意見を盛り込んで作成することが出来た。完成したパンフレットと、エンディングノートを会員配布し、サイト掲載して市民啓発を行った。</p>
作成した啓発資材	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット 1000部 <p>【大切な人への寄り添い方～旅立ちのときから看取り・葬儀後の手続まで～】</p>